

止まらない原油価格高騰による事業者と消費者、両者の負担増 消費税アップの議論は時期尚早

- ★ 「当面の経営上の問題点（複数回答）」について、1位が「需要の停滞」の160社。2位が「原材料価格の上昇」の117社。「取引条件の悪化」が44社で3位。
- ★ 「原油価格高騰の影響が最も大きいものは？」について、6割強の134社（61.5%）が「仕入価格・原材料価格高騰」を挙げている。続いて、2番目が「運送コスト増加」の29社（13.3%）で、3番目が「受注量（販売量）の減少」の25社（11.5%）。
- ★ 「原油価格高騰の影響への具体的対策」（2つまで回答）について、130社が「人件費以外の経費削減」と経費削減を1番に挙げている。続いて94社が「販売価格への転嫁」と経費削減だけでは、すでに原油価格高騰に伴う上昇分を吸収できなくなっている。

平成20年4～6月期 三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

三次商工会議所

平成20年7月に実施した第73回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が73回目。市内の500事業所を抽出し、集計企業数は223社（小売業64社、卸売業33社、製造業44社、建設業42社、運輸・交通業15社、観光・サービス業25社）で回収率は44.6%。

【概況】

今期（4～6月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況D.Iは、全業種平均で▲53.6と、3ヶ月前の前回調査▲41.6から12ポイント悪化した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が全体の0.9%、「やや好転」が8.2%で、逆に「やや悪化」が40.0%、「かなり悪化」が22.7%だった。同様に、売上D.Iも13.2ポイント悪化して▲47.3。採算D.Iについても2.4ポイント悪化して▲56.8。D.I値は軒並み▲50台前後と平成13年10～12月期以来の厳しい数値を示している。ガソリン価格も180円台に突入する中、原材料（商品）仕入価格も72.9とさらに上昇傾向にある。

今回事業所に聞いた「社会保障財源としての消費税アップが検討されている」件について、6割弱の123社（56.9%）が「まず歳出削減、引き上げ議論はその後」と回答し、「景気拡大による税収増が先。今議論すべきではない」の49社（22.7%）と合わせ、約8割の事業所が現時点での消費税アップに時期尚早の考えを持っている結果となった。逆に、「税の直間比率を見直す上で当然」、「社会保障制度を維持するためにはやむを得ない」、「財政再建のためにはやむを得ない」と一定の理解を示す企業は合わせて2割弱の41社（19%）。原油価格が高騰し続ける中で、仕入価格・原材料価格高騰など事業所の負担増、それに伴う販売価格への転嫁による消費者の負担増と両者の負担増が続く中で、消費税アップというさらなる負担増は景気回復には到底繋がらないように思われる。

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する。

業況DI (好転割合) - (悪化割合)

売上DI (増加割合) - (減少割合)

採算DI (好転割合) - (悪化割合)

業況は、全業種合計で今期▲41.6。業種別では卸売業、製造業を除く4業種でマイナス幅が悪化した。中でも、小売業（▲62.5）、建設業（▲66.7）、運輸・交通業（▲73.3）の3業種が特に厳しい。

売上は、全業種合計で今期▲47.3。業種別では、卸売業を除く5業種でマイナス幅が悪化した。特に、小売業と観光・サービス業の2業種が前期に比べ2倍以上の減少傾向にある。

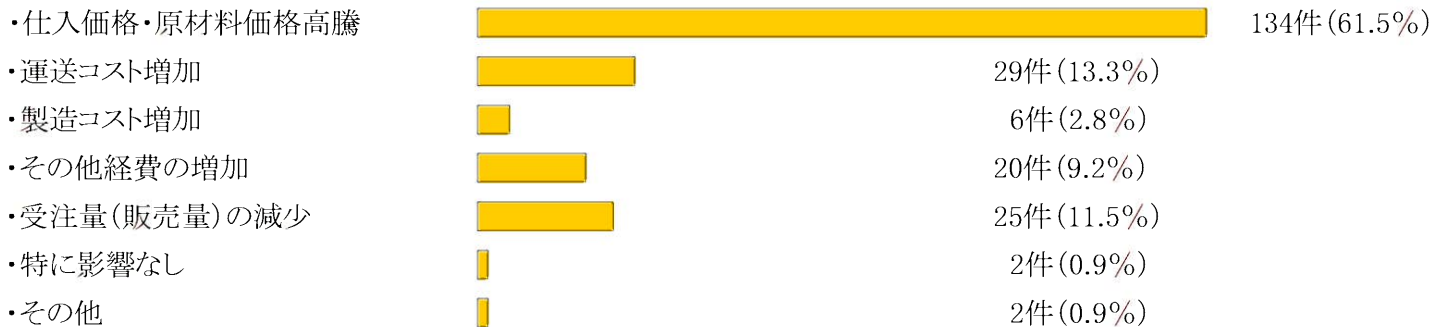
原材料(商品)仕入価格は、全業種合計で今期72.9。業種別では、観光・サービス業を除く5業種でマイナス幅が上昇した。運輸・交通業では1社も減少した事業所はなし。原油価格高騰の影響が原材料（商品）仕入価格に対して顕著に現れており、業況、売上、採算の悪化の要因にも繋がっている。

採算は、全業種合計で今期▲56.8。業種別では、卸売業、観光・サービス業を除く4業種でマイナス幅が悪化した。特に、建設業（▲76.2）と運輸・交通業（▲71.4）では、DI値がマイナス70を超えた。

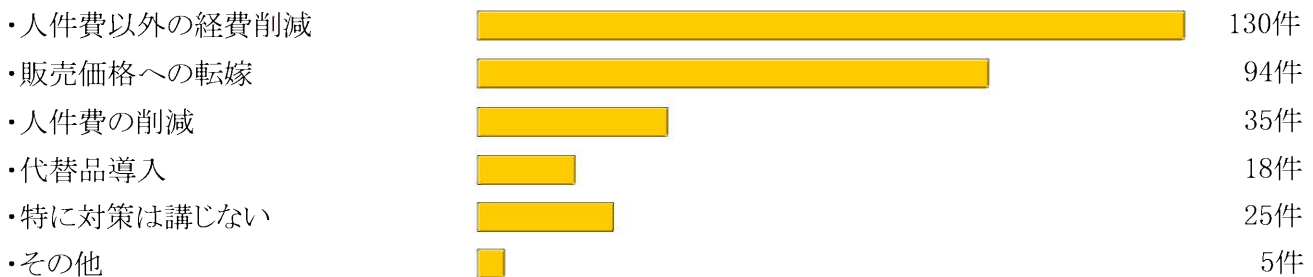
【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)



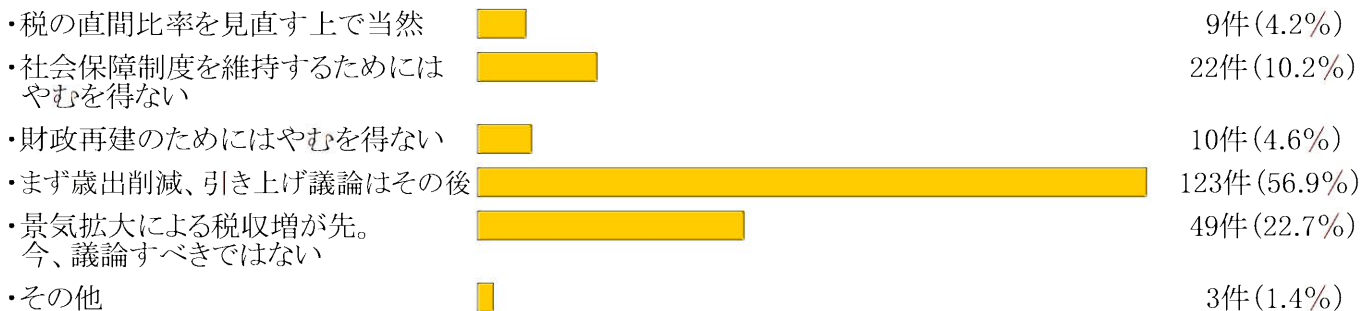
【原油価格高騰の影響が最も大きいものは？】



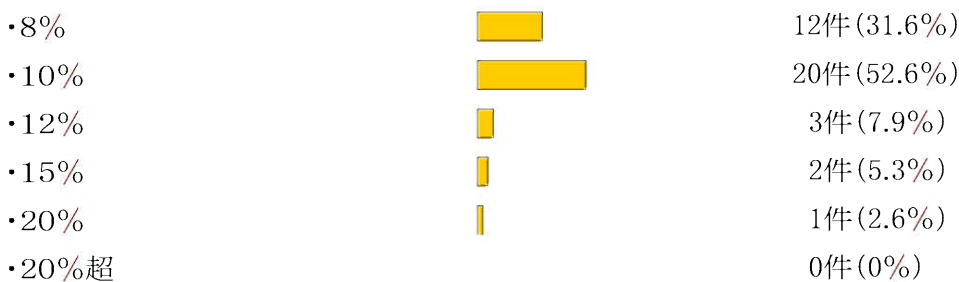
【影響への具体的対策は？】(2つまで回答)



【社会保障財源として消費税アップが検討されていますが、どのようにお考えですか？】



【消費税が何%までならギリギリ容認できますか？(消費税アップについて当然もしくはやむを得ないと回答された方のみ)】



【業況DI】

	前期に比べて	来期の見通し
全業種	▲ 53.6	▲ 53.3
小売業	▲ 62.5	▲ 65.6
卸売業	▲ 30.3	▲ 32.3
製造業	▲ 37.2	▲ 25.6
建設業	▲ 66.7	▲ 63.4
運輸・交通	▲ 73.3	▲ 73.3
サービス業	▲ 56.5	▲ 69.6

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に比べて	来期の見通し
全業種	▲ 47.3	▲ 49.5
小売業	▲ 56.3	▲ 62.7
卸売業	▲ 12.5	▲ 27.6
製造業	▲ 36.4	▲ 27.3
建設業	▲ 64.3	▲ 61.9
運輸・交通	▲ 60.0	▲ 46.7
サービス業	▲ 52.2	▲ 65.2

(増加割合－減少割合)

【採算(営業利益)DI】

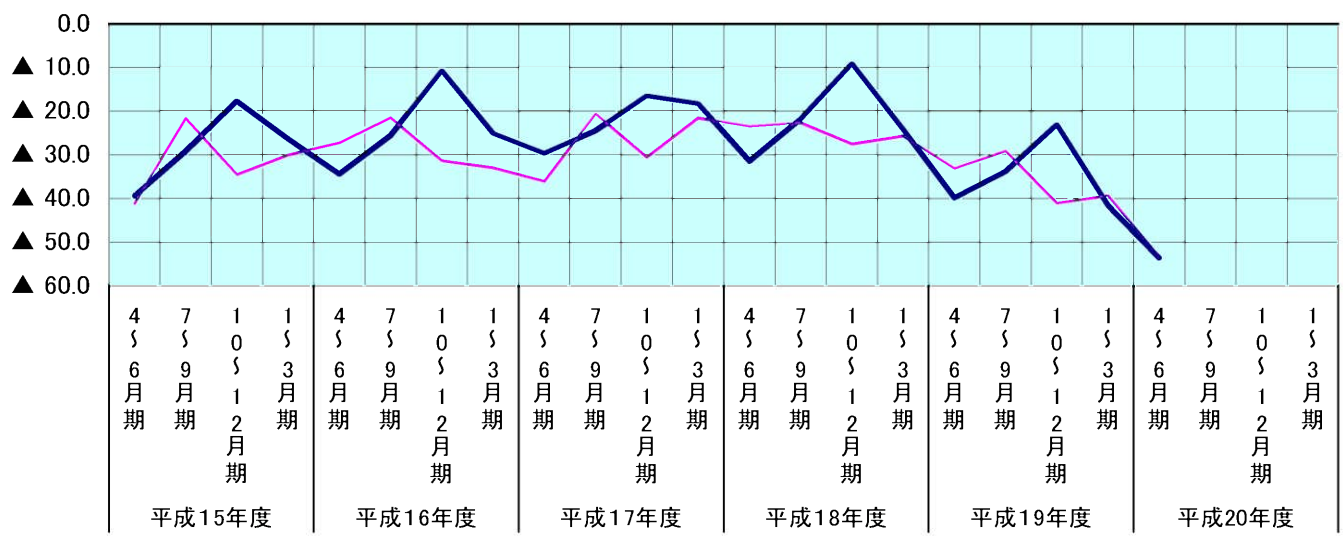
	前期に比べて	来期の見通し
全業種	▲ 56.8	▲ 60.9
小売業	▲ 65.6	▲ 76.7
卸売業	▲ 25.0	▲ 41.9
製造業	▲ 47.7	▲ 45.5
建設業	▲ 76.2	▲ 66.7
運輸・交通	▲ 71.4	▲ 71.4
サービス業	▲ 50.0	▲ 58.3

(好転割合－悪化割合)

全業種

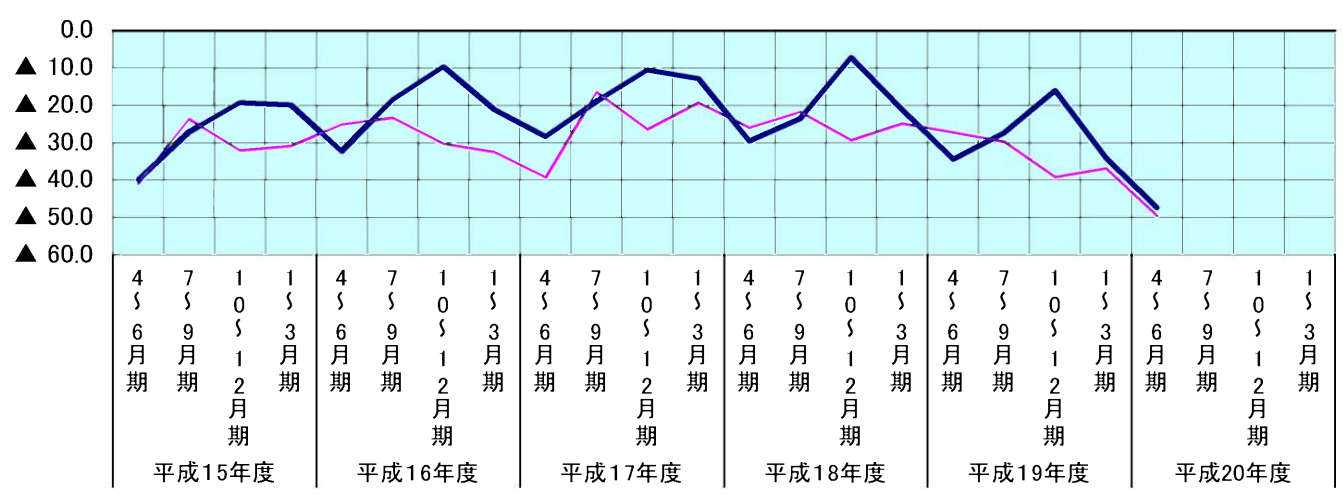
業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



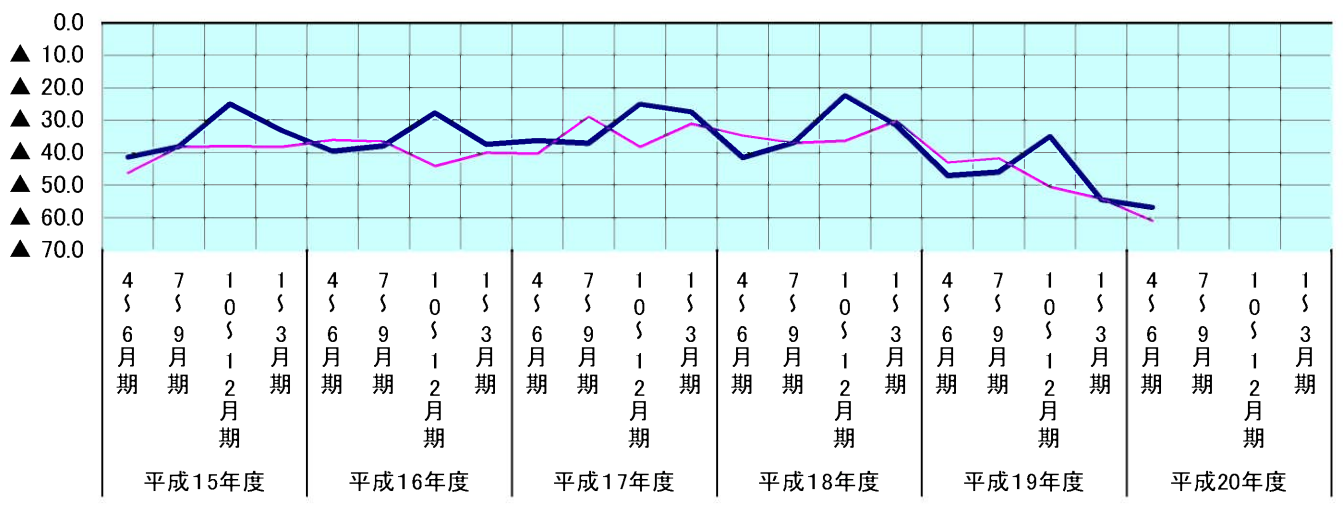
売上D.I.の推移

前期比 来期見通し




採算D.I.の推移

前期比 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			
卸 売 業	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			
建 設 業	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			
運 輸 ・ 交 通 業	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			
観 光 サ ー ビ ス 業	4月～6月 実 績			
	7月～9月 見 通 し			

景気天気図の説明					
					
大変良い	良い	まあまあ	少し悪い	悪い	大変悪い